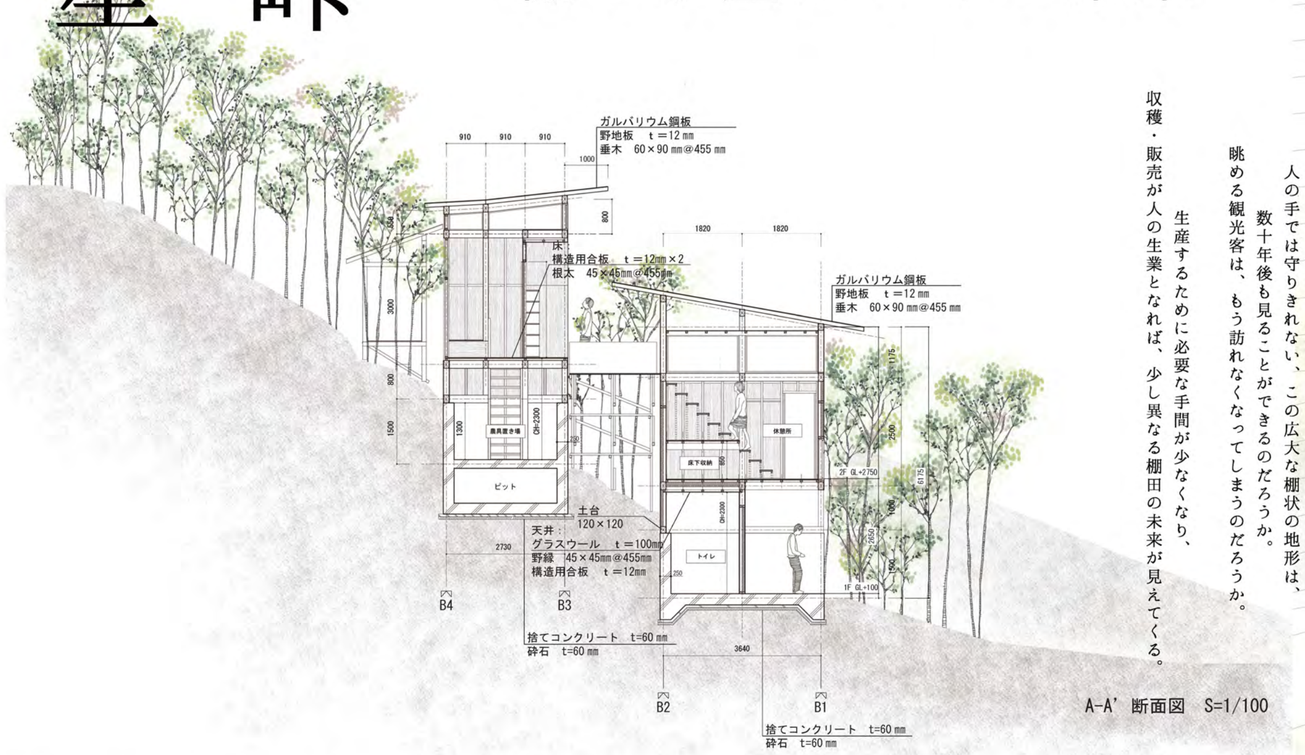
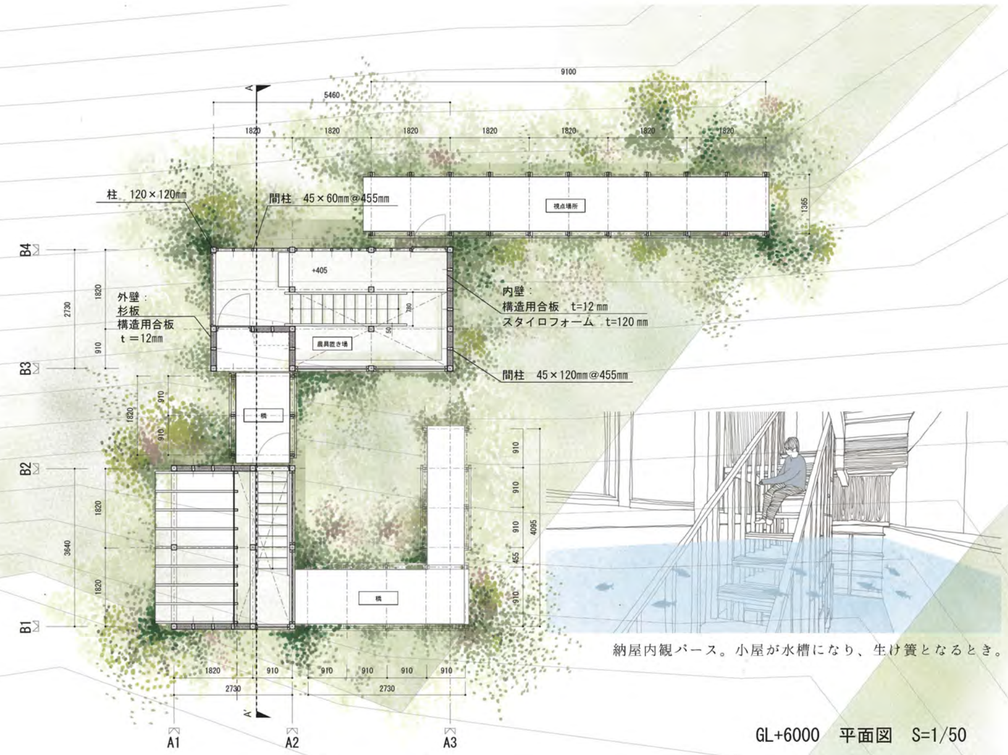
星峠　―棚と小屋がつくる未来―

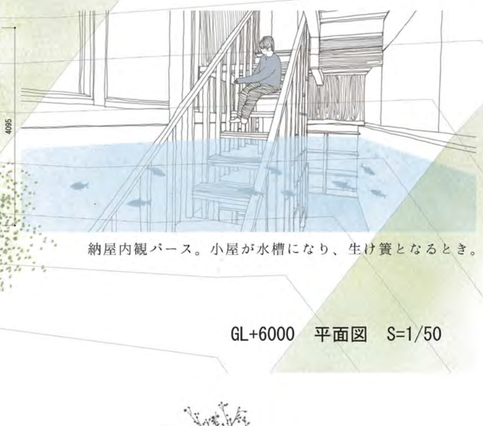
新潟県十日町にある「星峠の棚田」
三六〇メートルの斜面に約二〇〇枚の水田が広がる。
多くの観光客に親しまれるも、
ここを守る星峠集落の農業従事者は、七割が七十歳以上である。
人の手では守りきれない、この広大な棚状の地形は、
数十年後も見ることができるのだろうか。
眺める観光客は、もう訪れなくなってしまうのだろうか。
生産するために必要な手間が少なくなり、
収穫・販売が人の生業となれば、少し異なる棚田の未来が見えてくる。



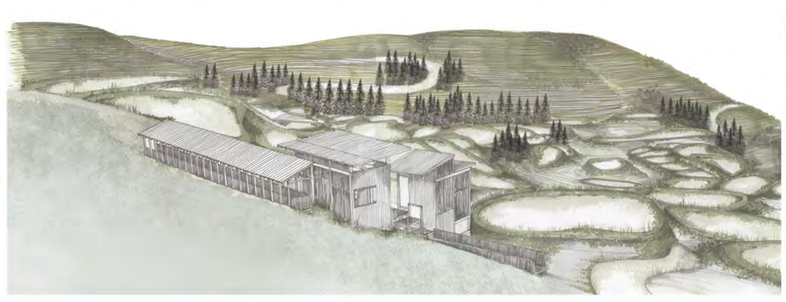
A-A’ 断面図　S=1/100

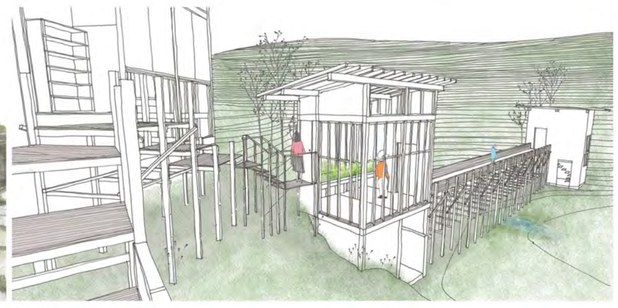


GL+6000　平面図　S=1/50

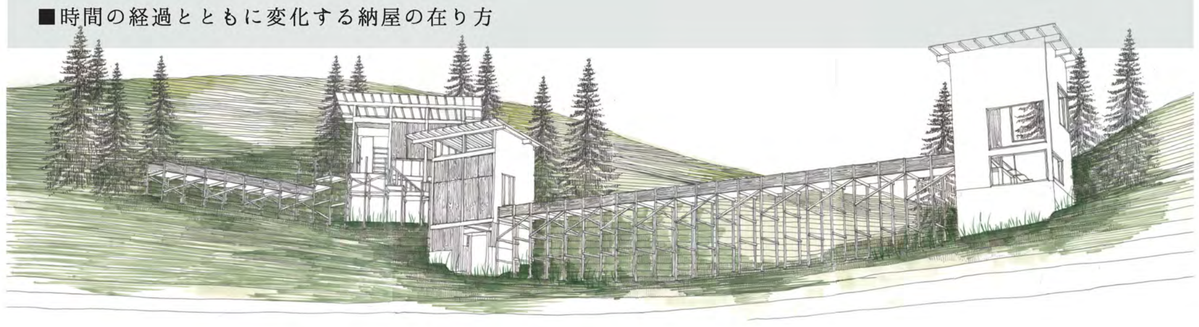


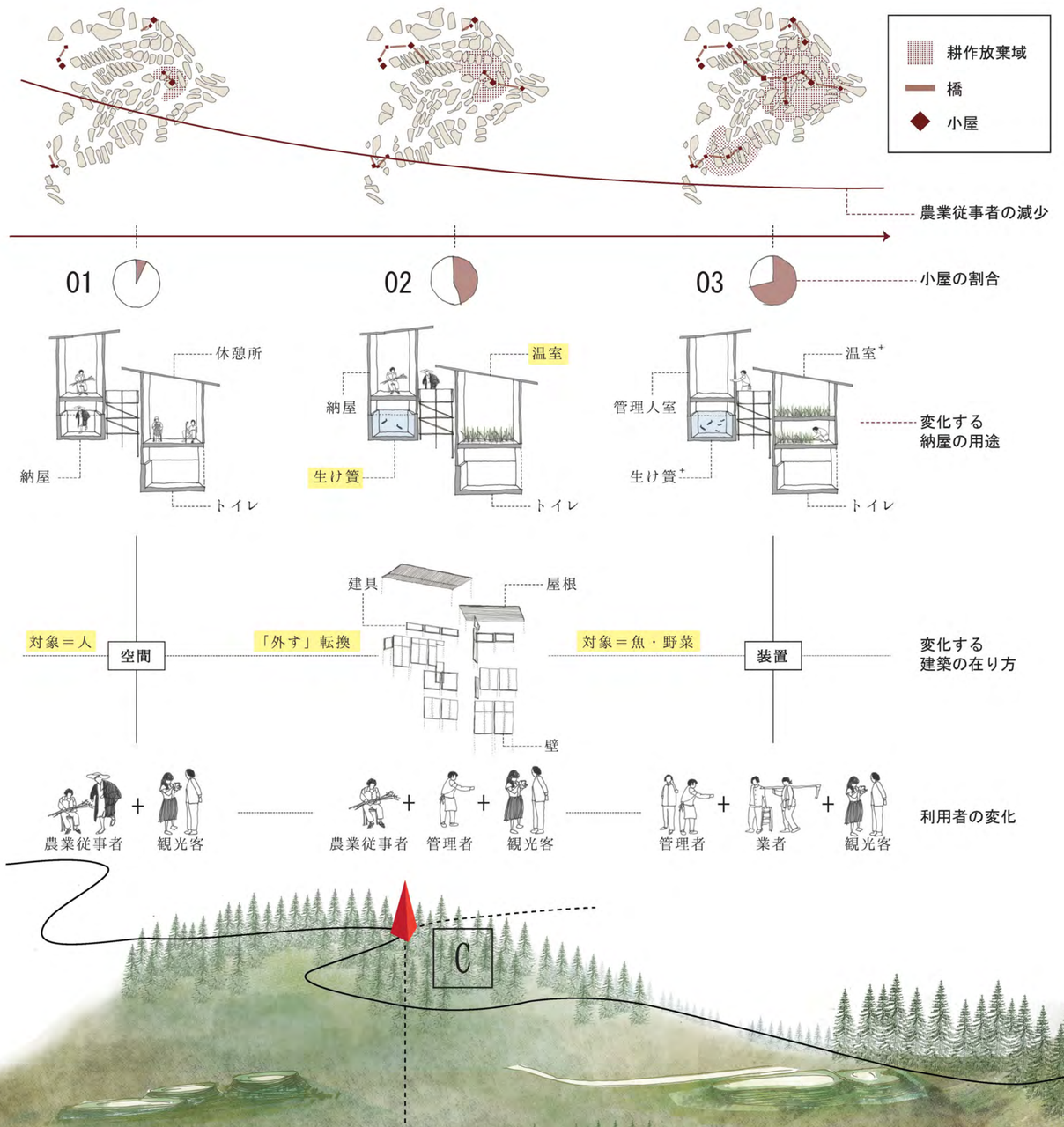
納屋内観パース。小屋が水槽になり、生け簀となるとき。



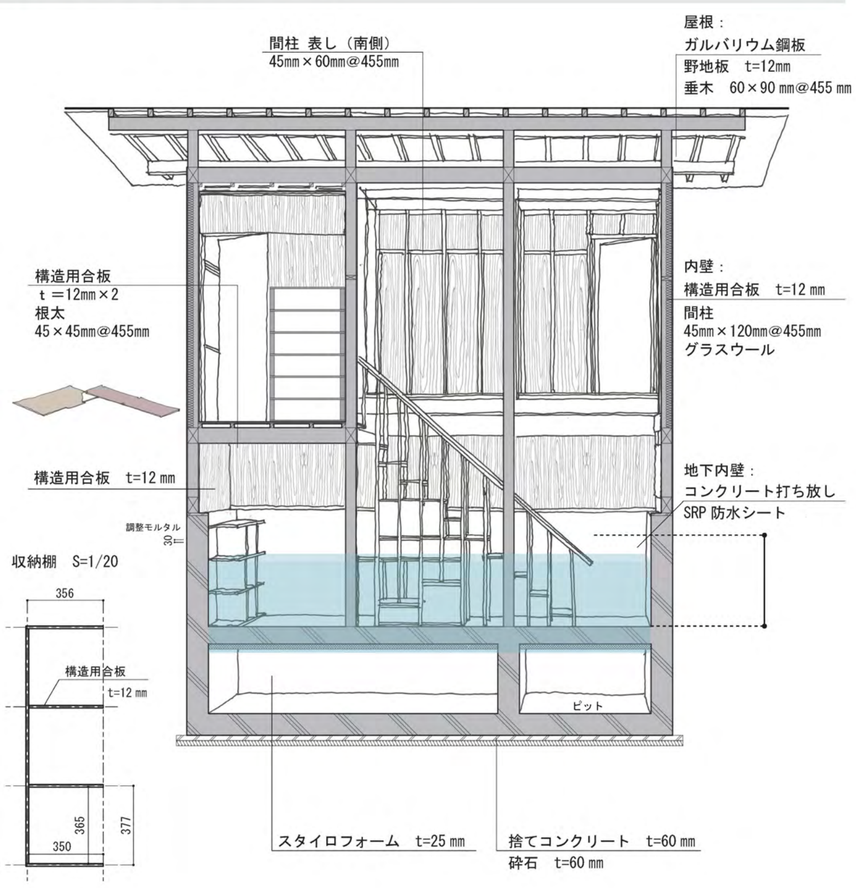


■時間の経過とともに変化する納屋の在り方

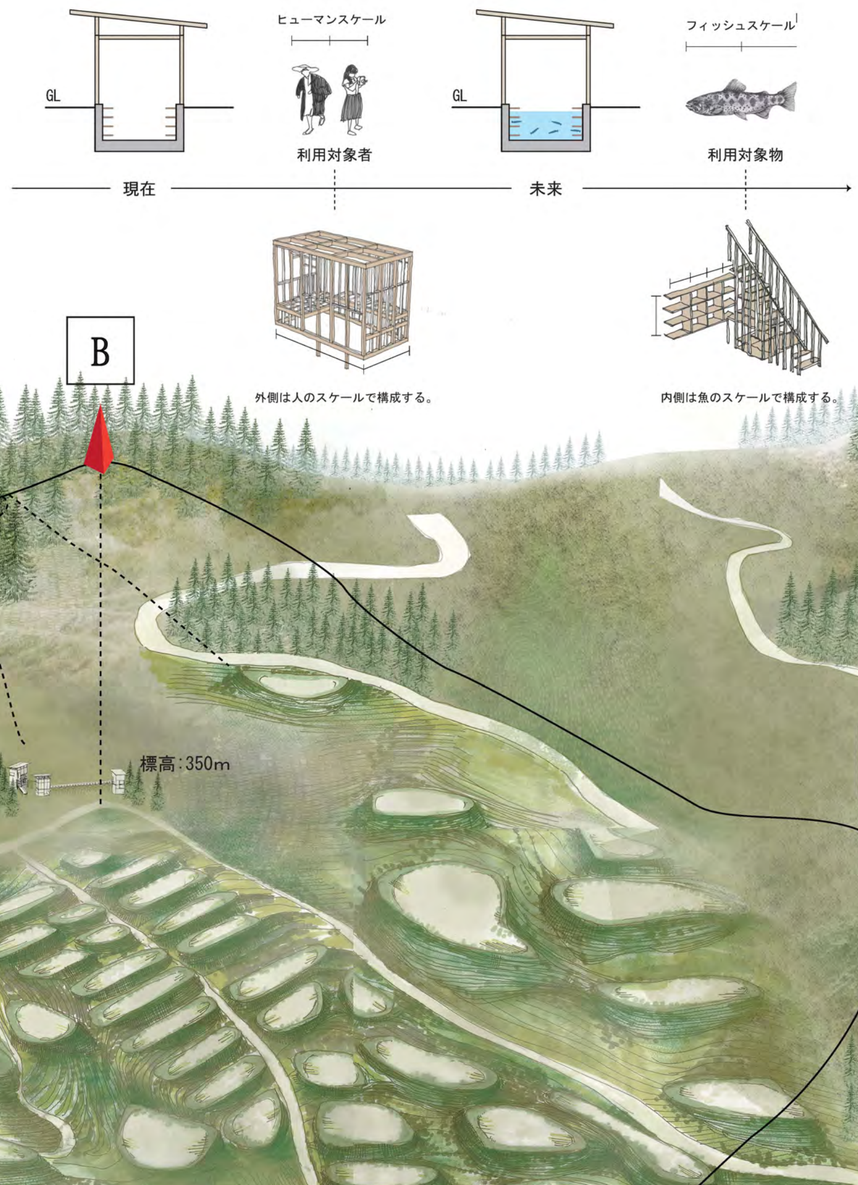




■納屋　詳細断面パース　S＝1/50

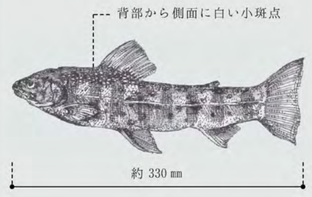


■異なる外と内のスケール



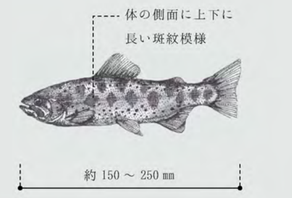
養殖する淡水魚

―魚の習性から得る寸法―



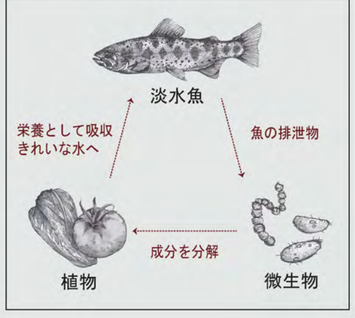
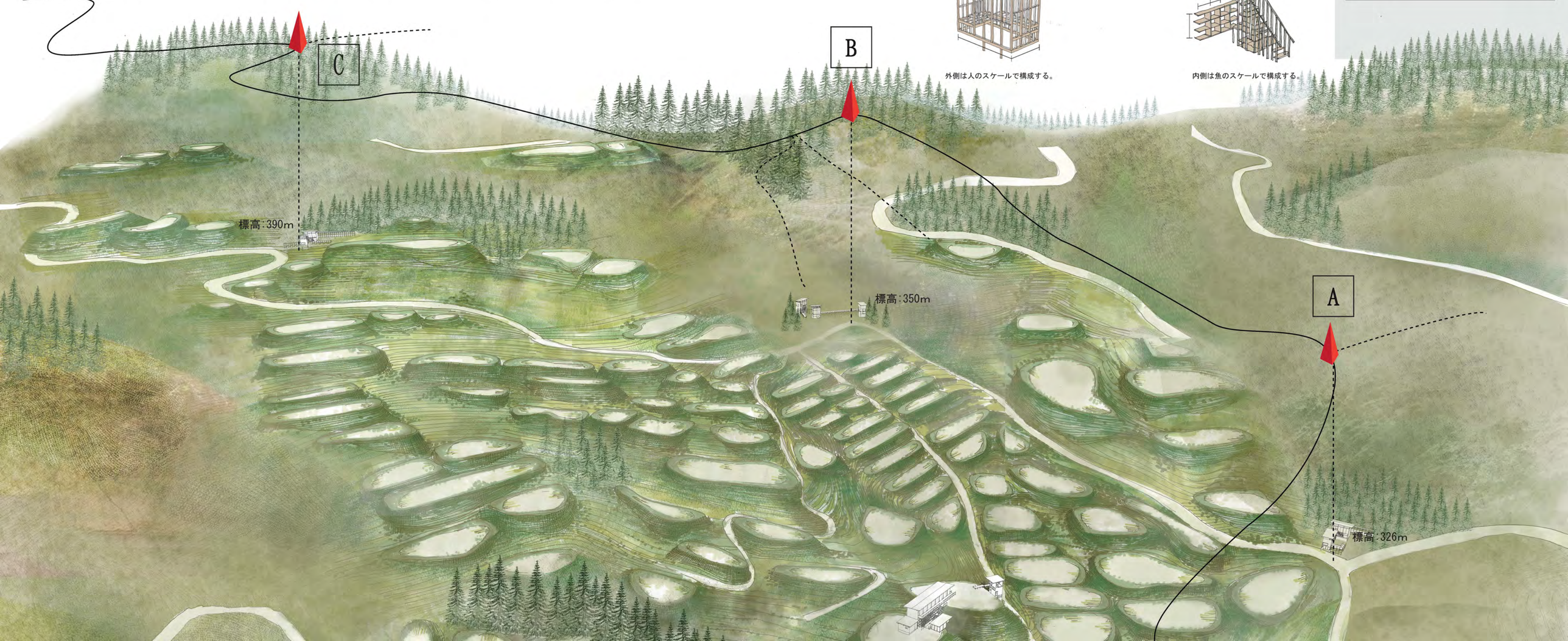
イワナ　サケ目サケ科イワナ属

・尺イワナ
・物陰に身を潜める。
・小型魚や水棲昆虫、落水する虫、動物性のプランクトンを捕食する。



ヤマメ

サケ目サケ科タイヘイヨウサケ属

・自由に泳ぎ回る。
・小型魚や水棲昆虫、落水する虫、動物性のプランクトンを捕食する。

循環型生産システムの仕組み